

★県北地域の感染症発生状況 (9/3~9/9 福島県感染症動向調査より)

- RSウイルス感染症の流行が続いています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナの流行が続いています。

福島市保健所管内の医療機関から「風しん」の発生が報告されました！風しんに関する詳細は「風疹 厚生労働省 戸山研究庁舎」を検索しご覧ください。

今月のトピックス

★「結核」は過去の病気ではありません！

福島県内では平成29年に138の方が新たに結核を発症しています。そのうち、約8割が65歳以上の方です。

結核は人から人にうつる感染症で、自分が結核だと気づかずに、家族や職場の同僚など、周りの人にうつしてしまうことがあります。

結核は早期発見、早期治療により治すことができます。

結核に関心を持ち、正しい知識を身につけましょう！

9/24(月)
~9/30(日)は
「結核予防週間」です。

○「結核」はどんな病気？

結核は「結核菌」によって、主に肺に炎症を起こす病気です。結核を発病し重症化している人の「せき」や「くしゃみ」の“しぶき”には、結核菌が含まれています。このしぶきの水分が蒸発して、結核菌だけが空気中にただよって飛び、それを周りの人が直接吸い込むことによってうつります。

「結核かな？」と思ったら早めに医療機関を受診しましょう。

また、人にうつさないために、せきが出るときはマスクをしましょう。

結核を孫にうつしたら大変！咳が続いたら、早めの受診だね。

<結核かな？のサイン>

このような症状がある時は
早めに受診しましょう！

- ◆長引く咳(2週間以上)
- ◆タンが出る
- ◆長引く(体の)だるさ
- ◆長引く微熱
- ◆胸の痛み
- ◆急に体重が減る

<毎年、胸部レントゲン検査を受けましょう！>

特に、高齢者の結核は、せきやタンなど目立った症状がでない場合もあります。健診で早期発見ができます。



<生後1年までにBCGを受けましょう！>

BCGは結核に対する免疫をつけて、乳児の重症化を防ぐ予防接種です。

生後5~8ヶ月に必ずBCG接種を受けましょう！

「風しん」が流行中です！！

関東地方で流行中の「風しん」が、ついに、福島市内でも発生しました(1名30代男性)。今後広がる恐れも！

予防接種が済んでない方は、早めに受けましょう！

大人を対象とした「風しん予防接種の助成制度」については、市町村の予防接種担当課へお問い合わせください。

発行日 平成30年9月20日
発行元 福島県県北保健所
医療薬事課
住所 〒960-8012
福島市御山町8-30
電話 024-534-4113
ホームページ
検索キーワード

福島県県北保健所